

関ヶ原製作所グランプリ

グッドカンパニー大賞

大野ナイフ製作所は優秀賞

公益社団法人中小企業研究センターの本年度グッドカンパニー大賞で、機械器具メーカーの関ヶ原製作所(不破郡関ヶ原町関ヶ原)がグランプリ、高級包丁メーカーの大野ナイフ製作所(関市下有知)が優秀企業賞を受賞した。

同大賞は、経済的、社会的に優れた成果を上げている全国の中小企業に贈られる賞で、1967年に創設。グランプリは全国水準で優れた中小企業に、優秀企業賞は全国7地区でグランプリに準ずる優れた企業に贈られる。県内企業のグランプリ受賞は2020年度のテクノア以来6社目。

関ヶ原製作所は06年度にも優秀企業賞を受賞。大型で高精度のものづくりを強みとし、ニッチな領域で付加価値の高い製品を生み出し、資源開発や社会インフラなど幅広い分野に貢献。長年、人材育成や地域社会の活性化にも意欲的に取り組むことが評価された。



「標準化や自動化できないものづくりが当社の強み」と語る矢橋英明社長＝不破郡関ヶ原町関ヶ原



あ、世界一の包丁
優秀企業賞の表彰状とメダルを手にする
大野武志社長＝関市下有知、大野ナイフ製作所

大野ナイフ製作所は、高級包丁を海外展開し、包丁業界で最高峰のキッチンナイフ・オブ・ザ・イヤーを10年連続で受賞。機械化、内製化を図るとともに、モノのインターネット(IoT)で生産工程を「見える化」し、生産性の向上、残業時間削減による働き方改革にも成功している。

大野武志社長(71)は表彰状と純銀製のメダルを手

「これまでの成果が認められ、社員の士気が高まった。全社員が責任を持った商品づくりに努め、さらに飛躍したい」と語った。